

## 2019年度日本海洋学会第2回幹事会議事録

日時:2019年7月25日(木)13:30~17:30

場所:JAMSTEC 東京事務所 共用会議室 B

出席者:神田会長、伊藤副会長、安藤、梅澤、江淵(Web 利用)、岡(Web 利用)、乙坂、川合、西部、三角、安田、安中、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

### 議題

#### 1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2019年度第1回幹事会の議事録(案)について確認し、承認された。

#### 2. 審議事項

##### (1) 入退会について(岡幹事)

2019年4月~5月の退会者(6名)と入会者(24名)を承認した。2019年5月末時点の会員数は、1487名。

##### (2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛等について8件の依頼があり、承認された。

##### (3) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦8件、シンポジウム・講演等3件、その他3件の依頼があり、学会ホームページで公開、メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

##### (4) 会費未納者への対応について(岡幹事)

現状の会費未納者への対応について整理した内容が報告された。今後は会員の年度更新が行われる前の秋から冬にかけて会費未納者への声かけを行うことが提案され、承認された。学会の発表者の会員資格のチェックの方法など、他の懸案事項については今後継続して議論することとなった。

##### (5) 名誉会員の推薦について(岡幹事)

名誉会員の推薦について議論し、本年度は定員超過のため推薦を見送ることとなった。

##### (6) 若手海外渡航援助(2019年度後期分)について(伊藤副会長)

若手海外渡航援助の応募状況について報告があり、今後、メール審議で渡航援助の対象者を決定することとなった。

##### (7) J-STAGE 業務委託個別契約書案について(吉田編集委員長)

「海の研究」掲載論文の J-STAGE 登載作業補助業務に関する業務委託個別契約書案について提案され、承認された。

(8) JO 編集委員の追加について(江淵編集委員長)

JO 編集委員の追加について審議され、コロンビア大学の Joaquim I. Goes 教授を生物系の編集委員として追加することが承認された。

(9) 2019 年度秋季大会におけるシンポジウム等の主催・共催(案)について(西部幹事)

秋季大会におけるシンポジウム等における「主催」、「共催」の表示のルールについて提案され、承認された。今後は「主催」と「共催」の併用は認められないこととなった。

(10) 幹事会内の WG の立ち上げについて(神田会長)

幹事会内に 3 つの WG: 1. 将来構想 WG、2. 80 周年記念事業 WG、3. 春季大会検討 WG (3. については今回の幹事会に先立って立ち上げ済み)、を立ち上げることが提案され、承認された。

(11) 来年度以降の春季大会(JpGU)の改善等について(梅澤幹事)

上記の WG3 において事前にメールで議論された内容(総会のありかた、JpGU 会場のブースの有効利用、生物・化学系会員の参加促進)が報告された。

2019 年度春季大会では総会が夜に実施されたことや、受賞式を秋季大会に移したことが影響し、総会の参加者が少なかった。その対応として、来年度は昼休みに 1 時間で総会を実施することが提案され、秋の評議員会で実施の可否を諮ることとなった。

JpGU のブースは、アウトリーチ活動の更なる促進に加え、学会員向けの情報提供・情報共有機能、他学会員に対するリクルートの機能を高めていく必要があることが確認された。ブースに置くコンテンツの追加や若手会員や地方大学の教員にブースの立ち会いに協力してもらうことなどが提案され、議論を継続していくこととなった。

生物・化学系会員の参加促進に関しては、JpGU の開催時期(5 月開催のため、地方から参加しにくいことや、卒論・修論の発表に使えない)や参加費が高いこと、JpGU 自体がこれまで参加したことのない学会であり、あえて参加する気にならないことが生物・化学系会員の参加の障壁になっているのではないかという意見がだされ、対応について引き続き議論することとなった。

### 3. 報告事項

(1) 庶務(岡幹事)

・学会のホームページの「沿革」欄を更新することが報告された。

(2) 会計(安田幹事)

- ・ 各委員会、研究会へ提供している資金の管理状況について報告があった。
- (3) 集会(三角幹事)
- ・ 秋季大会の表彰式の準備状況について報告があった。
- (4) 研究発表(西部幹事)
- ・ 秋季大会の準備状況について報告があった。
- (5) 編集
- ① JO(江淵編集委員長)
- ・ JO(Vol. 73(1)から Vol. 75(4))の発行状況、投稿・受理状況について報告があった。
  - ・ 2018年のJOのImpact Factorは2.085であったことが報告された。
- ② 海の研究(吉田編集委員長)
- ・ 海の研究(第28巻第3号)の発行状況、投稿・受理状況について報告があった。
- ③ ニュースレター(安藤編集委員長)
- ・ JOSニュースレター(第8巻第2号)が8月1日に刊行予定であることが報告された。
- (6) 広報(安中幹事)
- ・ 海洋学会のTwitterアカウントを閉鎖したことが報告された。
  - ・ 科学技術館の展示のために作成したポスター(海の疑問に答える)を今後広報活動で使用していくことが報告された。
  - ・ JpGUのブースの実施状況について報告があった。
  - ・ 海洋学を学べる大学や研究機関に関する情報をまとめたパンフレットとウェブページの作成について報告があり、海洋学会のホームページに掲載することが報告された。
- (7) 海洋環境委員会(梅澤幹事)
- ・ 青い海研究助成の募集状況(一般提案型応募なし。緊急提案型募集中)について報告があった。
- (8) 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂幹事)
- ・ 海洋観測ガイドラインの編集実施状況について報告があった。
  - ・ 今年度、ISBNの追加申請は実施しないことが報告された。
- (9) 海洋環境問題研究会(梅澤幹事)
- ・ 沿岸環境関連学会連絡協議会へ参加する日本海洋学会からの代表者を、海洋環境委員会の委員長と、沿岸海洋研究会から2名(小松輝久・速水祐一会員)の計3名に変更することの報告があった。

(10) 教育問題研究会(安中幹事)

- ・市川会員が申し込んだ青少年のための科学の祭典での出展に、教育問題研究会が協力することが報告された。
- ・秋季大会のシンポジウムで COSIA を実施する予定であることが報告された。

(11) 海洋生物学研究会(西部幹事)

- ・海洋生物シンポジウムが 2020 年 3 月 21、22 日に開催されることが報告された。

(12) JpGU(川合幹事)

- ・春季大会の実施報告をニュースレターに投稿したことが報告された。
- ・9 月 2 日から来年の JpGU 大会のセッション提案受付が始まることが報告された。
- ・来年度の春季大会の大会実行委員長は三角幹事が担当することが報告された。
- ・JpGU のプログラム委員を川合幹事と三角幹事で担当することが報告された。
- ・JpGU 関連の代議員選挙が実施されることが報告された。
- ・研究者倫理に関わる問題に関して JpGU に所属する他学会で発生した事例について報告があった。

(13) 海洋科学振興財団(伊藤副会長)

- ・神田会長と伊藤副会長が日本海洋科学振興財団に挨拶に伺ったことが報告された。

(14) 将来構想(岡幹事)

- ・秋季大会で実施するシンポジウム「大型研究計画と海洋学会将来構想」について報告があった。

(15) 男女共同参画(安中幹事)

- ・8 月 10 日に開かれる女子中高生夏の学校でブース展示をすることが報告された。

(16) 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

- ・5 月 30 日に第 1 回の連絡会が開催され北出幹事が海洋学会の活動を紹介したことが報告された。

(17) 若手支援(伊藤副会長)

- ・2019 年度日本海洋学会若手集会助成に応募のあった 3 件について、すべて採択したことが報告された。

(18) その他

SCOR とのジョイントシンポジウム(安藤編集委員長)

- ・秋季大会で実施される SCOR とのジョイントシンポジウムについて報告があった。
- ・日本の代表的な海洋の研究機関を神田会長が紹介することが報告された。

軍事研究(神田会長)

- ・ 軍事研究に関して「学術の動向」6月号に掲載された記事について報告があった。

以上